

仕様書

1. 件名

「エコプロ 2024」展示ブース設営業務

2. 目的

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(以下「機構」という。)と日本地熱協会(以下「協会」という。)が協力して出展する「エコプロ 2024」の展示ブースについて、本仕様書及び主催事務局側の出展規約等に従って設営し、地熱事業等について効果的な広報活動を行い、ひいては地熱資源開発及び地熱発電に対する国民的な理解をさらに促進させていく。

3. 開催概要

(1) 展示会名称

エコプロ 2024

(2) 主催

日本経済新聞社、(一社)サステナブル経営推進機構

(3) 開催期間

2024(令和6)年12月4日(水)～6日(金)の10:00～17:00

(4) 会場

東京ビッグサイト 東4・5・6・7ホール(東京都江東区)

(5) 開催趣旨

1999年の初開催以来、アジアを代表する環境総合展として、次世代技術や製品、サービス、CSR活動、環境保護活動、環境政策、産学官連携等の最新動向を紹介。環境配慮製品、環境関連技術、サービスの普及を通じて環境保護、社会課題の解決を図り、持続可能な社会の実現を目指している。

4. 展示ブース設営業務の基本コンセプト

(1) 分かりやすさ

来場者が、企業人のみならず、学生、子どもに至るまで大変幅広い層であることを考え、地熱資源開発や地熱発電を初めて知る層にも、親しみや興味を持って理解を深めてもらえるような分かりやすさを演出すること。

(2) アピール性と宣伝効果

地熱資源開発・地熱発電に対する世間一般の認知が未だ低い状態であることや、本展示会における地熱関連の出展が少ないこと等を踏まえ、来場者のみならず、マスコミにも大いにアピールし、宣伝できるように創意工夫を凝らすこと。

(3) 安心・安全な展示ブース

新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染拡大防止のため、展示ブース内数か所に消毒用アルコールを配置する等、安心できる展示ブースにすること。また、子どもたちの来場も多いことから、展示物の角を適宜覆う等、展示ブース内の展示物による負傷等への未然防止対策を施し、安全な展示ブースとすること。

5. 展示ブースの展示内容

(1) ①地熱講座

地熱資源開発・地熱発電の世界を、来場者が親しみを持って楽しく理解できるような講座を開催する。1講座30分程度で、各日15:00～と16:00～の2回、3日間で計6回。

②地熱発電模型実演

地熱発電模型、手回し発電実験装置を動かして実演する。1 実演 15 分程度で、最低でも各日 10:30～、11:00～、11:30～、12:00～、13:00～、13:30～、14:00～、14:30～の 8 回、3 日間で計 24 回。ただし、展示ブース内の実演スペースに来場者が多く集まってきたときには、上記時刻に関わらず開始する。

(2) パネル展示

地熱資源開発、機構の支援制度及び実績、技術開発、地熱モデル地区、日本全国の地熱発電所等をパネル形式で展示する。

(3) 子ども地熱クイズ

子どもが地熱について楽しく学べるようなクイズをパネル形式で実施する。

(4) アンケート及びノベルティ

来場者にアンケートに回答いただくとともに、適宜ノベルティを配布する。

(5) パンフレット

展示ブース内のカタログスタンドに配置し、フリーテイクとする。

6. 展示ブース設営業務に関する設計詳細

(1) 展示ブースの広さ(3m×3m×9 小間=81 m²)を最大限活用すること。

(2) 展示ブースの会場全体図における位置及び独立小間であることを勘案し、来場者誘導に最大限配慮したレイアウトとすること。

(3) 5. にも記載したとおり、以下の各展示を展示ブース内に効果的に配置すること。その際、子ども地熱クイズの答え合わせの順番待ちの来場者で混みあわないように、十分なスペースを確保すること。

① 地熱講座

② 地熱発電模型実演

③ パネル展示

④ 子ども地熱クイズ(問題、ヒントのパネル含む)、来場者数集計・理解度確認ができるアンケート等

⑤ 作業台(詳細は6. (11)参照)

(4) 出展者名及び展示ブースのキャッチフレーズを考え、トップサインとして効果的に掲示すること。

例:「地熱発電のヒミツ!!」、「地球の熱を電気に変える!! 地熱発電」

(5) 壁やパーティション等視界を遮るような構造は極力無くし、柱や梁もできる限り削減すること。

(6) 柱や梁等の構造体の色は、地熱のイメージや特徴がよく出るような配色を基調とすること。

(7) 展示物の高さ制限(通路から1m以内は高さ2.7mまで、それ以外の部分は高さ4mまで)には留意しつつも、最大限活用すること。

(8) 80 インチ以上の TV モニターを設置すること。TV モニターは、上記地熱講座及び地熱発電模型実演にて使用するため、適切な位置に設置すること。

(9) 地熱講座の実施用に演台を設置すること。また、適当数の簡易なイスを用意し、地熱講座の実施の際に来場者が座れるように配置すること。

(10) 地熱発電模型の実演用に、長さ 2,000mm × 幅 500mm 程度の、収納空間のあるテーブルを設置し、収納空間は外から見えないように対応を行うこと。

(11) 来場者が子ども地熱クイズへの回答等に使用可能な十分な広さのある作業台(高さは子供に合わせる)を設置すること。また、機構及び協会の説明員が、子ども地熱クイズの答え合わせ、アンケート記入・回収、ノベルティ配布等の受付業務に使用可能な作業台(3 名が入れる広さ)も設置すること。なお、大人が作業することを想定した適切な高さを確保するものとする。

(12) アンプ、マイク等の音響機器はノイズ等を避けるため高品質のものを選定すること。ヘッドセットは3セット、ハンドマイクは 3 本用意し、スピーカーは適切な位置に設置すること。なお、ハンドマイクの 1 本は無線マイクとする。

- (13) パネル展示及び子ども地熱クイズ用のパネルには機構が提供するデータを使用し、以下のサイズにて制作すること。なお、6. (2)にも記載したとおり、
 - ① LEDアクリルパネル A1×10 枚(機構 6 枚/協会 4 枚)
 - ② スチロールボードパネル 掲出場所の広さに合わせたサイズ×8枚(子ども地熱クイズ用の問題、ヒント、全国の地熱発電所一覧[写真撮影禁止の表示を入れること])
- (14) 各展示の必要照度を勘案し、必要数の照明を設置すること。また、トップサインが目立つように工夫すること。使用電気料金も予算に含むものとする。なお、地熱発電模型の実演では約2kWを使用予定。
- (15) パンフレットの在庫等の格納や休憩用として、倉庫スペースを確保し、荷物棚、上着掛け、机等を設置すること。特に機構及び協会の説明員の交替時に混み合うので、可能な限り広めにスペースを設けること。また、倉庫スペースの扉は施錠ができるものとする。
- (16) 各種機材用として必要数のコンセントを設置するとともに、受付と倉庫スペース内にも必要数のコンセントを設置すること。その際、安全面を考慮して、展示ブース内の床は這わせないようにすること。
- (17) 地熱発電模型実演の説明員として、同種のイベント業務の経験を有し、かつ子どもに分かりやすく説明できる等展示ブースの運営にふさわしい MC を 2 名程度専任とすること。なお、MC のナレーション原稿等は機構が提供する。
- (18) 来場者に回答いただくアンケートを 4000 部制作すること。なお、アンケート内の質問事項等は機構が提供する。
- (19) アンケート回収時又は(クイズの場合)採点時に来場者に配布するノベルティを 4000 部制作すること。ノベルティについては、「エコプロ 2024」の開催趣旨に照らして適切なものを選定すること。
- (20) パンフレット配布用に、カタログスタンドを 3 台設置すること。
- (21) その他、記述のない事項については機構と協議し定めるものとする。

7. 会場搬入・搬出及び設営業務

- (1) 搬入・搬出業務
出展規約に従い、各業務を完了させること。
- (2) 設営業務の完成
設営業務は 2024(令和 6)年 12 月 3 日(火)までに完了させるものとし、機構の検査を受けること。

8. その他

- (1) 3. (3)に記載の開催期間中は数名で展示ブースに常駐し、来場客の呼び込み等を補助すること。
- (2) 開催前に、機構及び協会の説明員向けに講習会を開催するため、説明員の役割、展示内容の概要、運営体制、シフト表、子どもの迷子対応等を盛り込んだ運営マニュアルを、2024(令和 6)年 11 月 18 日(月)までに電子媒体で制作すること。
- (3) 開催期間終了後、機構が提供する集計フォームを用いて、来場者に回答いただいたアンケートの集計を行うこと(参考:「エコプロ 2023」における集計数は 3,163 名分)。
- (4) 本設営業務における実施内容について、実績報告書を制作し、期限までに電子媒体で納入すること。なお実績報告書には、開催までの準備に係る実績、運営状況の詳細、上述の回収したアンケートを集計した表・グラフ、及び反省点等について、写真等を挿入しつつ記載すること。

納入期限及び納入場所は以下のとおり。

納入期限:2025(令和 7)年 1 月 17 日(金)

納入場所:独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

再生可能エネルギー事業本部 地熱事業部 企画課

資料番号 1

以上